

東海第二発電所 新規制基準適合に係る工事計画 添付書類変更に係る技術基準適合性への判断整理表(例)

※1:判断理由・手続き要否の関係

- (1)許可整合:A又はB-1又はB-2が「有り」…「変更認可申請/届出」又は「面談等で説明」
- (1)許可整合:A又はB-1又はB-2が「無し」、技術基準適合性:①「有り」…「面談等で説明」
- (1)許可整合:A又はB-1又はB-2が「無し」、②-1~3のいずれかが「No」又は②-4に該当…「面談等で説明」
- (1)許可整合:A又はB-1又はB-2が「無し」、技術基準適合性:①「無し」、②-1~3のいずれかが「Yes」…「CR管理(不適合)」

※2:添付書類の変更箇所は変更前後が明確になるようにし、CR管理(不適合)には、変更する当該ページの変更前後比較表又はハッチング等で明示した資料を添付する。

No.	件名	添付書類	変更内容	(1)許可整合(基本設計方針への影響)			(2)技術基準適合性への影響					判断理由 (SA工事計画との評価の比較等)	手続き ※1参照	変更理由	備考	CR管理(不適合)※2		
				A 設置許可及び 設工認本文への 記載有無	Aが“有”の場合 (該当しない場合“-”を選択)		① SA工事計画で 記載している 評価方法から の変更有無	①が“無し”の場合、以下の該当事項を選択 (該当しない場合“-”を選択)		①が“無し”& ②-1~②-3が“-”の場合 (該当しない場合“-”を選択)						注:②-4に記載した場合、SA工事計画との影響(許可整合、基準適合性)比較を詳細に記載	発生日	変更日 (対策日)
					B-1 設備仕様への 影響有無	B-2 設計方針への 影響有無		②-1 本文に関わら ない仕様の変 更によっても、 評価結果の裕 度が変わらない、 または裕度 が増す	②-2 仕様の変更に よる添付図面 の修正	②-3 設備、機器名称 の修正	②-4 変更内容							
1	ペDESTALサ ンプスリット 下部構造の 見直し及び排 水時間の変 更	V-1-8-1 原子炉格納施設の設計条件に 関する説明書 別添2 コリウムシールド及びペDESTA ル配水系の設計	・圧力損失及び排水時間評価結 果を修正 ・排水時間は変更前:約2.6時 間から変更後:約2.65時間と なるが、規定時間内(2.7時間) に排水可能	無	-	-	無	No	-	-	-	・規定時間内に排水可 能 ・排水時間が若干長 くなり、規定時間との余 裕が減少	面談等 で 説明	・配管ルートの変 更				
2	主排気筒 フ ンジプレート 材質の変更	V-2-2-15-1 主排気筒の耐震性についての 計算書	・フ ンジプレートを建設省告示 に設計基準強度が規定された 材料に変更	無	-	-	無	Yes	-	-	-	・フ ンジプレートは設 計基準強度を高めた ものに変更するため、 設計裕度は増加	CR管理 (不適合)	・建設省告示の 誤認				
3	残留熱除 去 海水系主配 管材料の記 載誤り	V-6 第4-6-1-2図 原子炉冷却系統施設のうち原 子炉補機冷却設備(残留熱除 去系海水系)に係る主配管の配 置を明示した図面(3/5)	・配管材料の要目表との整合	無	-	-	無	-	Yes	-	-	・添付図面のみの変更	CR管理 (不適合)	・エビデンス資 料の記載を誤 認				
4	非常用ガス 処理系主配 管材料の記 載誤り	V-6 第8-3-5-2-2図 原子炉格納施設のうち圧力低 減設備その他の安全設備の放 射性物質濃度制御設備及び可 燃性ガス濃度制御設備並びに 格納容器再循環設備(原子炉建 屋ガス処理系・非常用ガス処理 系)に係る主配管の配置を明示 した図面(2/2)	・配管材料の要目表との整合	無	-	-	無	-	Yes	-	-	・添付図面のみの変更	CR管理 (不適合)	・エビデンス資 料の記載を誤 認				
5	フィルタ装 置 入口水素濃 度サンプリ ング装置の うち サンプルガ ス 冷却装置削 除	・V-1-1-4-3-40 設定根拠に関する説明書(緊 急用海水系・緊急用水ポンプ) ・V-6 第4-6-1-6図、第4- 6-1-7図 原子炉冷却系統施設のうち原 子炉補機冷却設備(残留熱除 去系海水系)の系統図(1/4)、(2 /4) ・V-6 第4-6-2-14図~第4- 6-2-17図 原子炉冷却系統施設のうち原 子炉補機冷却設備(緊急用海水 系)の系統図(1/6)~(4/6)	・海水系を使用した冷却器によ る冷却から、装置設置エリア空 間への放熱による自然冷却化 に仕様変更 ・サンプリング冷却装置の削除 により、緊急用海水ポンプの負 荷は減少	無	-	-	無	Yes	-	-	-	・自然冷却によりサン プリング装置の要求温 度(40℃)に降温可能 であり、設計要件を満 足	CR管理 (不適合)	・装置運用手順 変更時の情報 共有不足				